

中田

スポ少中田支部で清掃活動



▲みんなで協力して除草作業。ごみ袋いっぱいになりました

施設へ感謝の心を込めて

市スポーツ少年団中田支部クリーンキャンペーンが9月7日、中田総合体育館周辺で実施されました。クリーンキャンペーンは、スポーツ少年団活動の場として、日頃お世話になっている施設やその周辺の清掃活動を通して感謝と親しみの心を育み、環境意識の向上を図ることが目的。約160人のスポーツ少年団員と保護者、指導者などが参加しました。当日は、蒸し暑い中での作業となりましたが、子どもたちは施設内の雑草を抜いたり、ごみを拾ったりと、清掃作業に汗を流していました。

迫

長沼漁協がダム周辺を清掃



▲長沼周辺のごみを拾う長沼漁協の組合員

試験湛水の前にきれいに

完成間近の長沼ダム周辺の清掃活動が9月29日、長沼漁業協同組合（阿部正一組合長）により実施されました。早朝5時30分から始まった清掃作業には漁協の組合員10人が参加。長沼ダム周辺に捨てられているごみを拾っていきました。阿部組合長は「清掃作業は漁協が毎年2回行っていて、今年はダムの試験湛水があるので計画を前倒しして実施した。ダムが完成しても長沼の美しい環境を守っていききたい」と話していました。現在工事が進められている長沼ダムでは、ダムに水をためる試験湛水が11月から開始されます。

学年を超えて深まる友情

小・中一貫校の特色ある行事として、今年で8回目となる豊里小・中学校の全校遠足が10月4日に実施されました。当日は児童536人が参加。1年生から9年生（中学3年生）までを縦割りで赤組、緑組、青組、黄色組の四つの班に分け、班ごとの目的地である平筒沼ふれあい公園や桃生総合運動公園までの4.5キロの道のりを歩きました。移動中は、中学生たちが歩き疲れた低学年の児童に声を掛けたり、手をつないで歩いたりするなど、ほほ笑ましい光景が見られました。学年の枠を超え、児童たちの親睦が深まった遠足となりました。

豊里小・中学校で全校遠足

豊里



▲お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと一緒に目的地を目指します

自然の恵みに感謝し収穫

登米小学校5年生の児童56人が9月26日、登米公民館脇の学習田で稲刈り体験を行いました。5月に植えた餅米の苗は、台風にも負けず立派に成長。参加した児童たちは、先生や地元の方の指導の下、鎌を使って稲刈りをしました。刈った稲を束ねる作業では、なかなか束ねることが出来ず悪戦苦闘していました。その後の棒掛けでは、声を掛け合いながら交互に稲を掛けて作業は終了。収穫した餅米は、学校の授業でおこわやお餅などに調理する予定で、児童たちはその日を今から待ちわびている様子でした。

登米小の学習田で稲刈り

登米



▲みんなで稲刈り。5月に植えた苗は立派な稲に成長しました

米山

少年団が街中をパレード



▲秋風が強く吹く中、最後まで元気いっぱい行進しました

交通安全を願って大行進

毎年全国一斉に行われている秋の交通安全運動に伴い、交通安全意識の高揚を目的として9月25日、米岡小学校交通安全少年団による交通安全の街頭パレードが実施されました。当日は、同小学校の金管バンドを先頭に米山勤労者体育館までの約1キロの区間を行進。楽器演奏をしながら交通安全を呼び掛けました。沿道では、多くの地域住民の皆さんが児童たちを出迎え、温かい声援を送っていました。米山勤労者体育館で行われたセレモニーでは、交通安全少年団長の村田大和くん（6年）が力強く誓いの言葉を述べました。

東和

東和中でキャリアセミナー



▲講師の話を真剣に聞く生徒たち

人生の先輩がアドバイス

生徒一人一人に将来に対する目的意識を持つてもらうと10月4日、東和中学校が全生徒170人を対象にキャリアセミナーを開催。製造業をはじめ獣医、自衛官、介護士、看護師、パティシエなどさまざまな職種の講師20人が仕事に対する思いや人生観などを生徒に伝えました。セミナーは、講師が各教室で45分の講座を3コマ実施する方式。生徒は興味を持った講座に向き、熱心に耳を傾けていました。生徒からは「なぜその仕事を選んだか」「仕事で大変なことは」などの質問があり、講師は体験談を交え丁寧に答えていました。